

1 発想が広がる 別冊「資料」

中学3年間で必要な資料をコンパクトな別冊に。

生徒の「つくりたい!」という気持ちを刺激する資料集ができました。



技法などの
資料を
別冊に!



学年が上がっても、
ずっと使えそうだね。



いろいろな
用具や材料があって、
ワクワクするなあ。



必要な資料がこの1冊に。
3年間使える資料集です。

「資料」目次 全 36 ページ

描く

- どうやって描く?
- 鉛筆で描く
- 水彩絵の具で描く
- アクリル絵の具で描く
- さまざまな描き方
- 版画で表す
- 文字をデザインする
- 端末を活用する



つくる

- どんな材料でつくる?
- 紙でつくる
- 粘土でつくる
- 木でつくる
- 金属でつくる
- 石でつくる



写真

- 写真を撮影する



映像

- 映像を制作する



発想・構想

- 発想・構想のために



形・色・光

- 自然の中の形・色・光



色

- 色の世界に出会う
- 色の特徴
- 色の効果と配色
- 日本と世界の伝統色図鑑



さまざまな技法や材料の使い方が掲載されているので、
生徒が「資料」を参照しながら、主体的に制作を進めていくことができます。

制作中も
スペースを
とらない



と
折り返ししやすい中綴じ製本を採用。コンパクトだから、
材料や用具を広げた机の上でもスペースをとりません。

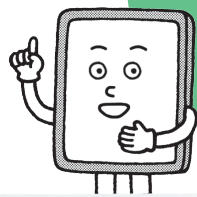
端末と
一緒に
持ち運べる
サイズ



「資料」には、技法動画などのQRコンテンツが多数用意されています。
端末と一緒にご活用ください。

創造力を刺激する紙面

どんな描画材を使うか、生徒が主体的に考えることのできる紙面を冒頭に設定しました。



ここだけで
18本の
技法動画に
リンク!

✪ カッターナイフで鉛筆を削る

✪ 鉛筆の持ち方、使い方

✪ 立体感をつける

✪ 水彩絵の具のいろいろな描き方

✪ 水彩絵の具の着彩

1年資料 P.2～3 「どうやって描く？」
中学校で用いる主な描画材の特徴を一
覧で紹介。QRコードから、たくさん
の技法動画を視聴することができます。

✪ 色鉛筆のタッチの違い

✪ 身近なものを色鉛筆で描く

✪ 水彩色鉛筆で描く

✪ 身近なものをパステルで描く

✪ 混色して使う

✪ パステルを粉にして指で描く

✪ クレヨンで描く

✪ スクラッチ、パチック

描く
えが

どうやって描く?

同じものを描いても、
描く材料によって印象は変わる。
自分のイメージを表すには、
どんな材料で描くのがよいだろう。

えん びつ
鉛筆

で描く ▶ P.4

同じ鉛筆でも描き方によって、
さまざまな表現ができる。

鉛筆を立てて持ち、細かい線
を重ねて描く。

鉛筆を寝かせて持ち、大きな
面を描く。

色鉛筆

で描く

色鉛筆は複数の色を塗り重ねて使くと、
表現の幅が広がる。

混色は、紙の上で、明るい色
に暗い色を重ねて表すとよい。

線を残して重ねると、複雑な
混色を表すことができる。

水に溶ける水彩色鉛筆もある。

パステル

で描く

パステルは粉末の顔料を固めたもの。

削って粉にしたものを、指やティッシュペーパーなどでぼ
かして使くと、柔らかな表現ができる。

クレヨン

で描く

クレヨンは顔料を
油脂またはろうで固めたもの。

スクラッチ ささまざまな色を
塗った上に暗い色を重ね、先
のとがったものでひっかく。

パチック クレヨンの上から
水彩絵の具を塗ると、クレヨ
ンの部分だけ絵の具をはじく。

水彩絵の具

で描く ▶ P.5

水の使い方を工夫して、
にじみやぼかしなど
で表すと、
水彩絵の具特有の
淡い表現ができる。

水の量を多くすると、淡い色
合いになる。

明るい色の上に、濃い色、暗
い色を重ねていくとよい。

アクリル絵の具

で描く ▶ P.6

溶かす水の量によって、さまざまな表現ができる。

多めの水で絵の具を溶くと、
透明感のある表現ができる。

水で溶かずに描くと、筆跡の
残る、力強い表現ができる。

ポスターカラー

で描く ▶ P.6

下の色が透けない
不透明水彩絵の具。
デザインやイラストに
使われることが多い。

水は少しずつ加え、混色する
場合はよく混ぜてから使う。

ペン や マーカー

で描く

水性や油性、顔料系のものなど多くの種類がある。

マーカーは重ねると、下の色
が透けて見える。

下地が乾く前に色を重ねると、
にじんだ表現ができる。

細いペンは線を重ねて表す。

✪ 水彩絵の具で風景を描く

✪ アクリル絵の具の描き方

✪ メディウムを使う

✪ 平塗りでリンゴを描く

✪ ポスターカラーで描く

✪ 平塗り、溝引き、マスキング

✪ ペンやマーカーで描く

誰にでもわかりやすく、使いやすい

美術に苦手意識のある生徒も無理なく取り組めるよう、
基本的な用具の使い方や技法を、わかりやすく解説しました。

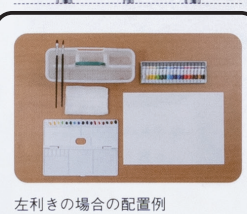
水彩絵の具で描く

水彩絵の具は、水の量や筆の使い方、
色の重ね方の工夫で、多様な表現ができる。

●絵の具を使うための準備 使いやすい配置や用具の特徴を知ろう。

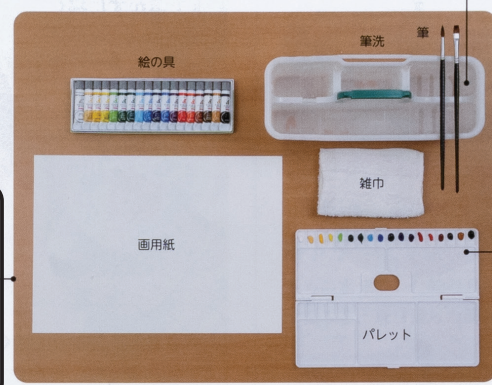
▶筆

丸筆は線を描くなど、さまざまな表現ができる。平筆は広い部分を均等に塗るのに適している。



▶用具の配置例

筆洗や雑巾などの用具は利き手側に集めると使いやすい。



筆洗は、筆を洗うところやすぐとろ、きれいな水を入れるところを決めておく。雑巾は、水の量の調整や筆先を整えるのに使う。



パレットの広いスペースは、色を混ぜるのに使う。

●水彩絵の具の着彩 色の重ね順に気をつけながら描こう。

左利きの場合の例を掲載



●いろいろな描き方 水彩絵の具は、水の量や筆の使い方で、いろいろな描き方ができる。



下の絵の具が乾く前に、別の色の絵の具を塗る。



塗った絵の具の上を、水を含ませた筆でなぞる。



絵の具が乾く前に、ティッシュペーパーなどで水分を吸う。



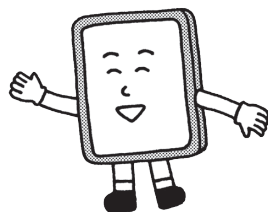
水分の少ない絵の具を筆につけ、ほうきで掃くように描く。



写真が多いから、
視覚的に
捉えやすいね。

写真で 詳しく解説

用具の特徴や、使う
際の注意点を、
写真を入れて詳しく
解説しています。



わかりやすい 技法動画にリンク

QRコードから、
さまざまな技法動画にリンク。
字幕表示（※）や再生速度を選べるので、
自分のペースで視聴することができます。
※字幕が設定されている動画のみ。



字幕の
ON/OFF、
再生速度を
選べる！

自分のペースで
技法を確認
できそうだね。



色の資料を豊富に掲載

表現・鑑賞どちらにも役立つ、
色に関する資料を豊富に用意しました。

「色の資料」 ラインアップ

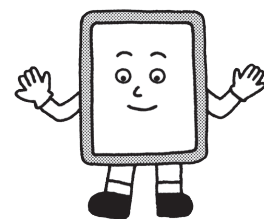
1年資料 P.26~35

- 自然の中の形・色・光
- 色の世界に出会う
- 色の特徴
- 色の効果と配色
- 日本と世界の伝統色図鑑

たっぷり
10ページ

1年資料 P.34~35

「日本と世界の伝統色図鑑」
90種類の伝統色と、
その由来を解説しています。



色への理解が深まるQRコンテンツ

色について深く学べる、オリジナルコンテンツです。

三原色体感ツール

(1年資料 P.30)

画面上で三原色を動かして、
減法混色・加法混色の仕組みを学べます。

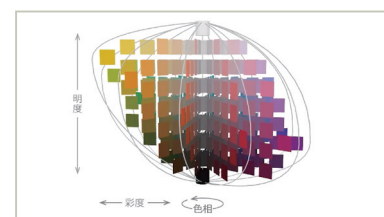


日本と世界の伝統色図鑑

伝統色の名前の由来を知り、
色の世界の豊かさに触れてみよう。

赤・ピンク系の色		だいだい・黄・茶系の色	
日本の伝統色	世界の伝統色	日本の伝統色	世界の伝統色
桜色 さくらいろ	ベビーピンク	柿色 かしいろ	マリゴールド
紅梅色 こうばいいろ	ローズピンク	橙色 だいだいいろ	レモンイエロー
桃色 ももいろ	サーモンピンク	山吹色 やまぶきいろ	ピーチ
撫子色 なでしこいろ	フラミンゴ	卵色 たまごいろ	ペーज
清色 ときいろ	ストロベリー	菜の花色 なのはないろ	カーキ
牡丹色 ぼたんいろ	マゼンタ	刈安色 かりやすいろ	イエローオーカー
紅 べにいろ	カーマイン	黄土色 おうどいろ	キャメル
茜色 あかねいろ	レッドオーカー	弁柄色 べんがらいろ	アンバー
朱色 しゅういろ	スカーレット	朽葉色 くちはいろ	バーントシェナ
蘇芳色 すおういろ	パーミオン	黄色 とひいろ	バーントアンバー
小豆色 あずきいろ	コーラルピンク	茶色 ちいろ	セピア

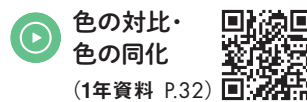
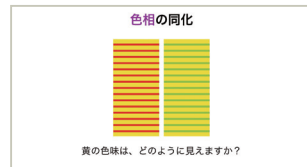
※バーント (burnt) は「焦した」という意味。その土地の土を焼いて染料にした。



色の三属性と色立体

(1年資料 P.31)

色立体の仕組みを、
CG動画で
わかりやすく解説。



「美術2・3」からも技法動画をチェック！

2・3年の教科書で、1年別冊「資料」の動画が見られるように、
QRコードを一覧で掲載した
ページを設けました。

2・3年 P.94~95

「学習を支える資料一覧」

